オウム・インコ類の新輸入活鳥(五)

(1973—1974)

黒田 長 禮*

Newly Imported Live Parrots (5)

(1973—1974)

Nagamichi KURODA*

Summary: The following seven species and subspecies of parrots should be added to the list of the cage birds imported into Japan.

「鳥」22 (93・94): 54~56 (1973) に新輸入(四)を報じたが、いま、また(五)として次の7種および亜種の輸入活鳥を追加する。鳥名前の番号は自著「世界のオウムとインコ」(1967)の同種番号と一致せしめた。

42. ホオアオヒインコ *Eos semilarvata* Bonaparte.

杉野義雄氏から 1973 年末に大阪に輸入されたと報ぜられる。まだ実見はしていない。

分布は Ceram 島の中部(海拔1,700m)である。

44 e. ノドグロゴシキモドキ *Trichoglossus haematodus caeruleiceps* D'Alberty & Salvadori.

杉野氏から 1973 年に♂1点(落鳥標本)を贈られた。測定すれば全長 ca. 190, 翼 123, 尾 82, 跗蹠 15.5, 嘴(蠟膜より) 17mm.

特徴はフトフムネアカゴシキ(*haematod*)に似て胸斑が太いが体が小型である。ノドグロゴシキ(*nigrogularis*)にすこぶる似て小形, 胸斑はやや少なく, 腹に紫黒色がすこし多い。

分布は南 New Caledonia である。

54 b. オオコシジロインコ *Pseudeos fuscata incondita* (A. B. Meyer).

杉野氏から 1974 年 3 月撮影の成鳥と幼鳥の写真と前者の測定とが来た。測定: 翼 164, 跗蹠 20, 嘴峰 23mm で, コシジロインコ基亜種と全く同色であるが, 測定が大型で赤色のものに一致する。幼鳥はその特徴として尾羽の先が尖る。

分布はニューギニアの Vogelkop を除く全域と Geelvink 湾内の小島に住む。基亜種の方は Salawati 島と Vogelkop に分布する。翼長 160mm 以下である。

186 a. ハゴロモモドキ *Aprosmictus jonquillaceus* (Vieillot).

三島冬嗣氏が小山園へ入荷 1 羽の落鳥を入手 (23, iv. 1974) されたと報ぜられる。

これはハゴロモインコ(*erythropterus*)に比し腰が淡青色, 間肩部が黒くなく緑色, 上雨覆は黄緑色で上部だけ赤色, そして尾羽外側羽の内瓣に広い帯黄色緑がある。

分布は Timor の原産。亜種は Wetter にいる。

242 a. ハマダラインコ *Touit stictoptera* (Sclater).

東洋園(中野区)主が 1974 年 7 月に活鳥 1 羽を持参され, 私が見て同定したのである。これは早型であり, 体は緑色, 腹方帯黄色で淡く, 翼に暗色の斑紋がある。問題は額に小桃色斑が 1 個あるのと暗色の 1 線がある点だが, この後どう変化を示すかが疑われた。おそらくやや若き鳥かと思われた。

分布はコロンビアの Andes からエクアドルに至る。飼鳥としての記録は外国でもまだないようである。

284 ミヤマインコ *Aratinga branickii* (Berlepsch & Stolzmann).

三島氏 (20. iv. 1974 発信) から小山園に本種♂♀が飼育されていることの報告を受けた。

これはクサビオインコ属(*Aratinga*)中のミヤマインコ亜属(*Leptosittaca*)に入るインコで, 今まで飼鳥例は知られていないような珍鳥である。

特徴は額の狭帯は金褐色, 眼下の帯は黄色で細く, 腹はオリーブ黄色に赤斑がある。全長 350mm 位。

分布は南エクアドルから中央ペルーに達する。

288 d. アカノドリハメキシコ *Aratinga holochlora rubritorquis* (Sclater).

杉野氏 (10. vii. 1974 発信) から大阪に新入荷のインコとして写真数葉を寄贈された。私が同定したところでは上記の亜種と思われる。

基亜種テリハメキシコ(*holochlora*)は飾りなき光輝

* 東京都港区赤坂 2-17-10 〒107

17-10, 2-chome, Akasaka, Minato-ku, Tokyo

図-1. アカノドテリハメキシコ
杉野義雄氏写真 (1974) 大阪新輸入

図-2. コガネメキシコ
東京輸入の落鳥 黒田写真 (1974)

ある緑色の鳥であるが、今回の亜種はその名のごとく顔、喉及び頸側に赤色または橙赤色の斑や帯を示す特徴がある。

ロンドン Zoo やそのほかにまれに輸入されたというが、本邦では初めての入荷であると思う。

以上で新輸入の7種を掲げたが、ここに付記すべきことは稀なアラゲインコ (*Psittirichas fulgidus*) が東京に2羽入荷、1974年3月と4月にそれぞれ落鳥した。このうちの1点、標本となったものを那波昭義氏から私に贈られた。

また黄金の最美のニョウオウインコ (*Aratinga guarouba*) が東洋園に2羽入荷し、そのうちの1羽の落鳥と、同様に黄色の美しいコガネメキシコ (*A. solstitialis solstitialis*) の1落鳥標本とを那波氏から贈られた。

ここに上記諸氏のご好意に対し深く感謝の意を表す。

また、ナナイロメキシコ (*A. solstitialis jandaya*) が福島県大沼郡新鶴村の小島原将英氏の飼鳥で1973年と1974年の巣引に成功され、雛のふ化写真を贈られた。これは日本における新記録としてここに報告する。なお、その記事は同氏により「バードライフ 16 (11): 10~11, 3 写真, 表紙写真とで発表されている。

(Received Nov. 16, 1974)